

令和2年度境港市原子力発電所環境安全対策協議会

■ 日時：令和2年11月20日（金）15時00分～

■ 場所：境港市保健相談センター講堂

■ 日程

1 開会

2 会長あいさつ

3 副会長の選出

4 議題

(1) 令和2年度原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）の実施結果について

(2) 島根原子力発電所の現況について（中国電力株式会社より説明）

① 島根原子力発電所サイトバンカ建物の巡視業務の未実施に関する調査報告について

② 島根原子力発電所2号機の適合性審査の概要

③ 島根原子力発電所3号機の適合性審査の状況

④ 島根原子力発電所1号機の廃止措置の状況

5 閉会

■ 出席者（別途出席者名簿参照）

■ 会議録（要旨）

1 開会（大道自治防災課長）

2 会長：伊達市長のあいさつ

3 会議録（要旨）

<事務局>

「令和2年度原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）の実施結果について」説明

<委員>

この訓練の参加者や規模では少ない。内容も薄いと感じた。今後の訓練の将来展望等について市としては、どう考えているのか。

<事務局>

この度の訓練は、コロナ禍ということもあり、規模を縮小し、開催した。感染者移送訓練、自家用車避難訓練、その他初めて行う訓練もあった。いただいた意見を参考に内容を充実させながらさらに実効性のあるものに高めていきたい。

<委員>

例えば、子どもたちが学校にいる時の避難はどうしたらいいのか。学校にバスがくる

のか。知らない。学校を巻き込んだ訓練も必要。検討してほしい。

<事務局>

毎年、市報に「原子力防災ハンドブック」を折り込み、自治会等での出前講座でも説明はさせていただいているところ。PTA等の行事等でも出向き説明させていただきたい。児童の引き渡し訓練等を行っている学校もあると伺っている。さまざまな機会を捉え、周知に努めたい。

<中国電力>

島根原子力発電所の現況について

- ・島根原子力発電所サイトバンカ建物の巡視業務の未実施に関する調査報告について
- ・島根原子力発電所2号機の適合性審査の概要
- ・島根原子力発電所3号機の適合性審査の状況
- ・島根原子力発電所1号機の廃止措置の状況

<委員>

(サイトバンカ建物の巡視業務の未実施の件について) 協力会社と説明されたが、我々からしたら、協力会社の過失は、中国電力の過失とみている。

<委員>

以前のLLW流量計問題の説明を受けた際に、グループ会社、協力会社もしっかり中電職員と同様の研修をするべきと意見提起をした。この度、協力会社の自主的な取り組みに委ね、当社の関与が不十分であったとの説明。そして一体となった取り組みの強化とある。以前(私が)申し上げたものだ。極めて残念だ。

<中国電力>

発電所内で起こったことは全て中国電力の責任。LLW流量計問題から社員教育は、もちろん協力会社にも行ってきたという認識だったが、この度の調査では差があり、監視の目が届いてなかった。ご指摘をいただいたことにはお詫び申し上げます。教育等を徹底していく。

<委員>

ヒューマンエラーは、起きる。コンプライアンスを醸成する取り組みを繰り返し行っていくしかないと思う。

<中国電力>

コンプライアンスの醸成と、管理、チームワーク、コミュニケーションをとりながらしっかりやっていく。

<委員>

島根原発で事故が起きた場合、事故の具体的な進展について、中国電力からはどのようなタイミングで情報がくるのか、基準はどうなっているのか。

<中国電力>

原子力災害対策特別措置法により、事故になる前の段階から自治体へは通報する。そして、進展の都度、段階に応じて状況を伝えることになっている。

<会長>

中電から入った情報は、逐次、住民の方にお知らせする。冷静な行動をしてもらいたい。それには、日頃からの訓練を重ねないとなかなか身につかない。住民と一緒にやっついていかないといけない。

<委員>

事故が起きたらすぐに避難と考える。冷静な行動ができる市民がどれだけいるか疑問。事故はいつ起きるかわからない。この会議に初めて参加したが、危機感が見えない。